

【教育目標】
○よく学ぶ子
○思いやりのある子
○たくましい子



【栗野小のめざす子】
5つの気（本気 やる気 和気 元気 根気）のある子
5つの気ですて木な学校を創ります。 文責 茅島 拓

令和2年 12月21日
住 所：鹿沼市口栗野802
TEL：85-2034
FAX：85-2125
〈公式ホームページ〉
アクセスはQRコード
をご利用ください。

〈宇都宮インターパーク倉持呼吸器内科院長 倉持 仁 先生の講話〉

11月4日（水）に栗野地区青少年育成市民会議と栗野小学校PTAの合同研修会として、本校体育館で実施しました。

倉持先生は質問の時間の多くとってください、丁寧に回答してくださいました。

飛沫感染にはマスクが有効であること、接触感染には徹底した手洗い、エアロゾル（空気中のウイルスをとらえた感染）には換気、そのための厚着、加湿が必要であることなど、分かりやすく教えてくださいました。とても有意義な研修会でした。

〈パーティションを寄贈していただきました〉

宇都宮インターパーク倉持呼吸器内科院長 倉持 仁先生より飛沫感染用パーティションを上学年10組、下学年用10組 御寄付いただきました。回りは檜で囲ってあり、落としても割れることはありません。給食や発表のときに有効に活用していきたいと思ひます。本当にありがとうございます。

〈分散型授業参観〉お忙しい中ありがとうございました。



今回も7月に引き続き分散型授業参観を実施しました。人数制限や地域限定という条件を御理解していただきありがとうございました。11月のめあてには全校生のかなりの子が「授業参観をがんばる。」「たくさん手を挙げる。」といった内容を記載してありました。次年度は方法を考えて学習発表会を実施したいと思ひています。

〈4年生 板荷自然体験教室〉晩秋を満喫しました。

11月12日（木）日帰りでしたが板荷自然体験交流センターでウォークラリー、杉板焼きなど体験学習をすることができました。紅葉が美しく里の秋を味わいながら絆を深めることができました。



〈ゲートボール協会の皆様とクラブ活動〉素晴らしい技を見せていただきました。

今年度も栗野ゲートボール協会の皆様の御協力でクラブ活動を共に実施することができました。子どもたちが毎年とても楽しみにしている活動です。

年に数回の活動ですが、ねらう位置や打ち方を丁寧に教えていただきました。短時間でしたが、すごく上達した気分になりました。

〈4年生プログラミング教育応援団チーム公開授業〉

11月18日（水）栃木県教育委員会の「プログラミング教育応援チーム」の支援を受け、4年生が算数の公開授業を行いました。鹿沼市の先生方に見ていただき研究会を実施しました。一人一台のタブレットを用いてひし形作成のプログラムを考え、正方形との違いを考えました。先駆的な取組でしたので、十分でない箇所が多々ありましたが、指導者の先生方や参観された先生方の助言を基に改善していこうと考えます。



密を避けるため体育館で実施しました。細かな流れを視覚的に確認します。タブレットの使い方に慣れていること、教科の中でプログラミング教育を取り入れた意義を指摘していただきました。

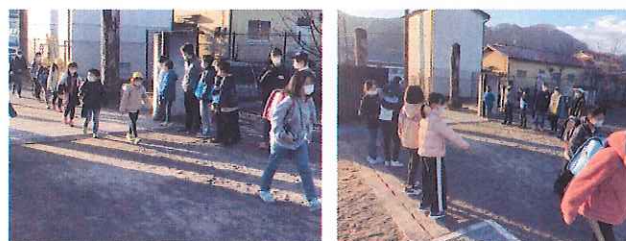
〈持久走大会〉コース内の立哨指導、温かい御声援ありがとうございます。

12月2日（水）、本校の持久走大会を実施しました。約一ヶ月の間、練習をしてきました。上位入賞者の子のがんばりはもちろんですが、最後まで走る気持ちを前面に出し、がんばった子の姿も大変印象に残りました。



〈あいさつ運動〉代表委員会の子が考えて実行しました。

11月下旬から、6年生の代表委員会の子の発案で学年ごとに「あいさつ運動」を実施しています。「あいさつ」の大切さは多くの場で話題に上がります。教師から子どもたちに指導していますが、子どもから子どもへの呼びかけや、同じ学年の子ががんばっている様子は印象に残り効果的であると思ひます。子どもから子どもへ伝えるあいさつは、「自分もやろう」という気持ちにつながり、がんばっている友達の姿は深く心に刻まれることであると思ひます。



また、「あいさつ」には大きな効果があります。相手を尊重したり、大切にしようと思ひたりする思いが伝わります。そして、あいさつを交わすことから次の話題に入りやすくなったり、いい表情を見せれば自然とお互いが笑顔になったりします。スポーツの世界では礼儀を重んじる訓練の一つが「あいさつ」です。試合の中の声は筋肉を限界値まで出せるようになるという科学的効果も立証されているそうです。スポーツでは「声はもう一つの筋肉」と言われるくらい「声を出す。」ことには大きな意味があります。元気いっぱいあいさつをどんどん多くの人たちにしていきたいですね。

〈多様性を理解する。〉これからの時代に必要になる資質です。

『桃太郎はなぜこの3匹を仲間にしたのか。』という文言から始まる「J.T」の広告がありました。その広告の内容は以下のとおり続きます。桃太郎がなぜ、犬、猿、キジという一見バラバラの三者を仲間にしたのか。おそらく桃太郎は、チームに多様性を取り入れ、ある種のケミストリーを起こそうとしたのではないのでしょうか。心を開き、認め合うことができれば、個性の違いはお互いを高め合うきっかけになります。



違うから、視野が広がる。発見がある。成長できる。強くなれる。と続いています。自分ない「違い」の価値に気づくこと、その「違い」を吸収しようとする気持ち、そして「違い」が共存し磨き合えれば、見方が変わって新たな世界観が広がります。

今は人権の世紀です。様々な価値観をもった人ばかりです。そうした人達と共生なしに今後の社会を乗り切ることはできません。他者のもつ自分ない資質、それを認め受け入れることで、社会はもっと豊かになっていくことでしょう。

1月予定 8日始業式 安全点検 12日 身体計測 1~3年 13日 身体計測 4~6年
15日 4年生プラネタリウム学習 広報部会 18日 委員会活動 19日 共遊
21日 4年生手話教室 22日 給食委員会集会 25日 体育集会（縄跳び発表会）
26日 学力テスト 28日 避難訓練（地震） 29日 5年生社会科見学（宇都宮方面）